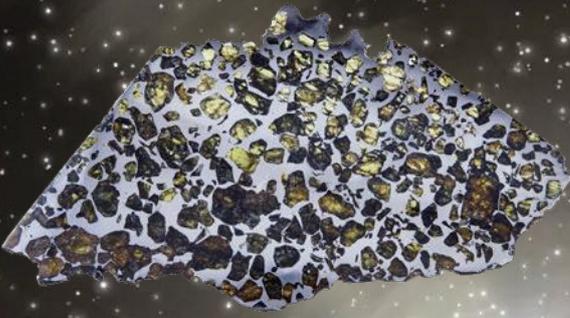


東京大学総合研究博物館コレクション／スクール・モバイルミュージアム

隕石

星の
力ケラが
語ること



2024 2025
11.12(火) - 3.31(月)

入場
無料

9:00~17:00 (12/29~1/3、日曜・祝日休館)

文京区教育センター2階

大学連携事業室 〒113-0034 文京区湯島4丁目7番10号
TEL: 03-5800-2591

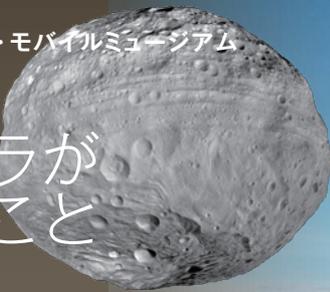
企画・展示 三河内 岳・遠藤 秀紀 協力 国立極地研究所



©NASA、第54次南極地域観測隊



隕石 星の カケラが 語ること

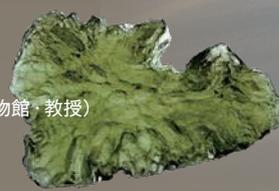


宇宙からやって来た、星のカケラである“隕石(いんせき)”。どこの星から来た、どんな“石”なのでしょう? じつは、隕石のほとんどは火星と木星の間にある小惑星からやって来ていて、中には月や火星から飛んで来たものも見つかっています。展示されたたくさんの隕石から、地球にやって来るまでの長い道のりを想像してみてください。隕石は46億年前の太陽系の誕生とその後のダイナミックな天体進化の歴史を記録したタイムカプセルなのです。隕石は、南極や砂漠でたくさん見つかっていて、研究者らによって隕石探査のフィールドワークが行われています。展示では、どのようにして、太陽系の歴史証人となる希少な研究材料が採集されるかも紹介します。また、巨大な隕石は、地球に落下したときの大爆発によって衝突クレーターを作ります。隕石そのものは、蒸発して残りませんが、そこにあった地球の岩石は、宇宙からのメッセージを受け取り、巨大衝突の痕跡を残すのです。これら様々な“星のカケラ”を眺めていると、太陽系と地球の長い歴史をきっと実感することができるはずです。



講演
14:00~15:00

三河内 岳 (東京大学総合研究博物館・教授)



- 2024 12/14 [土] 隕石が語る太陽系が生まれたころの話
- 2025 1/25 [土] 火星から飛んできた隕石がある!?
- 2025 2/15 [土] 南極で隕石を探す
- 2025 3/1 [土] 砂漠は隕石の宝庫



会場 文京区教育センター 2階研修室
対象 どなたでも
定員 90名(先着順)
費用 無料
申込 不要(当日直接会場にお越しください)



詳細は文京区教育センターHPでご確認ください。

<https://www.bunkyo-ky.ed.jp/ed-center/index.cfm/7>



文京区教育センター

〒113-0034 文京区湯島4丁目7番10号 TEL: 03-5800-2591

開館日時 9:00~17:00 (12/29~1/3、日曜・祝日休館)

- 交通**
- 東京メトロ千代田線 「湯島駅」(1番出口) から徒歩 8分
 - 東京メトロ丸ノ内線 「本郷三丁目駅」(2番出口) から徒歩 10分
 - 都営地下鉄大江戸線 「本郷三丁目駅」(5番出口) から徒歩 8分
 - 都営バス 「湯島四丁目」から徒歩 5分・「池之端一丁目」から徒歩 8分・「竜岡門」から徒歩 4分

※自動車での来館はご遠慮ください。